

九州観光ビジネスプランコンテスト 2023

事業計画書

提出日 2023 年 10 月 31 日

学 校 名	日本経済大学		
学部・学科名	経済学部商学科		
チ ャーム名 (個人参加の場合は任意)	地域デザイン R.D.チーム	エントリーNo.	

チームの紹介(任意項目)

「九州の地域活性化に向けたバイクツーリズム」と題してプロジェクトを行ってまいりました。観光ビジネスの観点から、このプロジェクトの考察や取り組みについてご紹介させていただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

1. 取り組みテーマについて(なぜこのテーマに取り組んだのか)

・現状および課題認識

現在バイク利用者はバイク全盛期である1980年代と比べ、減少傾向にある。私たちの周囲でもバイクに跨っている人は殆ど見かけていない。本プロジェクトでは、九州の地域活性化のためにバイクツーリズムというニッチなアプローチに取り組んでいる。

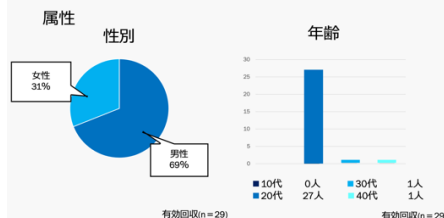
2. 課題解決に向けた新たなアイデアについて

バイクツーリズムツアーを計画している。計画する範囲は、今は福岡県内に限定している。各都道府県のバイク保有率に関するデータでは、福岡県もバイクの保有数は減ってきているものの、割合としては九州では一番高く、認知してもらえる可能性が高いと踏んだからである。バイクツーリズムを進めるに当たって、今の若者がバイク及び観光に対して、どれほどの意識が向いているのか理解すべく、アンケート調査を行った。調査の結果から、バイクに興味を持ってくれている人は想像していたよりも、多かったが、それでも運転の不安や金銭面の不安などのデメリットによる不安から、バイクに乗るまでに至る人は少数だということが分かった。また観光に関しては、コロナの影響があり、観光の頻度は減っているものの、それでも興味を持っていたり、アフターコロナでは観光の頻度を増やしたいと、観光に対する意欲が高い人が多数という結果を得ることができた。また、バイクツーリズムのPR動画も作成しており、先程の結果で分かった、観光意欲が高い人達に向けて、PR動画の発信をおこなえば、バイクツーリズムへの理解、そして発展にも繋がることである。

共有調査項目

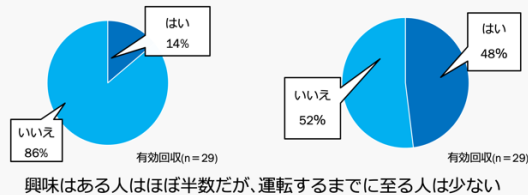
- ・性別
- ・年齢
- ・バイクを運転していますか
- ・バイクに興味がありますか
- ・観光は好きですか
- ・観光にはどのような点を意識しますか
- ・観光にはどの程度の頻度でいきますか
- ・観光に行くならどの程度の期間がいいですか
- ・コロナ禍により観光する頻度は減りましたか
- ・コロナが収束すれば観光に行きたいですか

アンケート集計結果

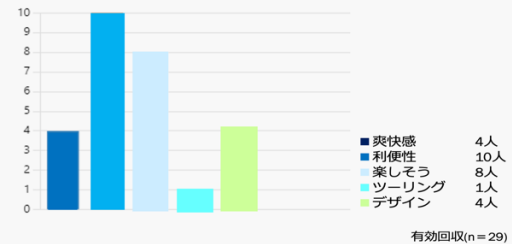


●バイク利用の現状と課題 先行研究によるアンケート結果

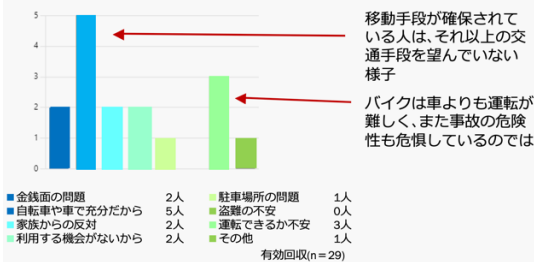
- ・バイクを運転しますか
- ・バイクに興味がありますか



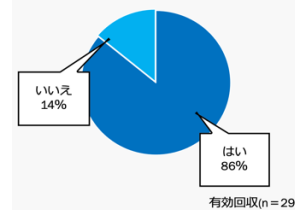
バイクに興味がある人へ→どのような点でバイクに興味がありますか(複数回答可・3つまで)



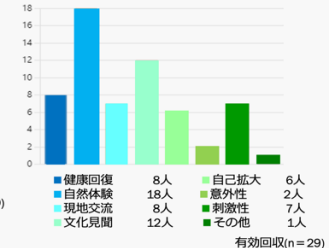
バイクに興味がない人へ→その理由を教えてください(複数回答可・3つまで)



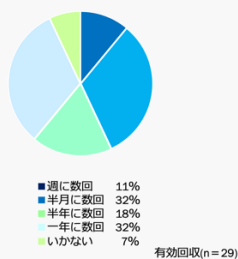
観光は好きですか



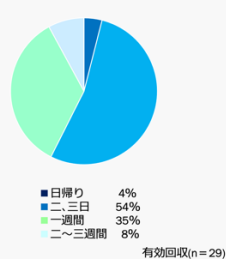
観光には何を意識しますか



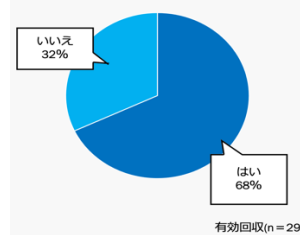
観光にはどの程度の頻度で行きますか



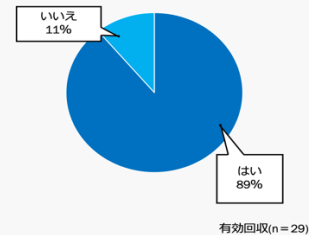
観光にいくならどの程度の期間がいいですか



コロナ禍により、観光する頻度は減りましたか



コロナが収束すれば、観光に行きたいですか



分析

- バイクに興味がある人はほぼ半数だが、実際に乗っている人は約10%
 - バイクに興味がある理由 → 利便性、楽しそう、爽快感
 - バイクに興味を持ってない理由 → 自転車や自動車でも充分、運転の不安、金銭面
- ↓
- バイクに興味がある人はいるが、それでも事故の危険性や金銭面等のデメリットへの不安から手を出すまでには至らない人が多かった。
 - 実際にバイクを体験できる企画の開催やバイクを持つことの利点を知ってもらえれば、利用者を増やすことができるのではないかと。

分析2

- 観光が好きなのが大多数
 - 観光には、自然体験、文化見聞、現地交流を意識したい人が多い
 - コロナ禍により観光する頻度は減った人が過半数を超えていたが、収束後は観光に行きたいと答えた人がほぼ90%
- ↓
- コロナの影響か、観光に行きたいと考えている人が多く見られた。また、過半数の人は半年に数回は観光にでかけており、観光に対する意欲は高いことが分かった。
 - 観光意欲が高い人に向けた、バイクツーリズムツアーのPRを発信すれば、バイクツーリズムへの理解、発展に繋がる。

3. 九州や地域社会への影響について

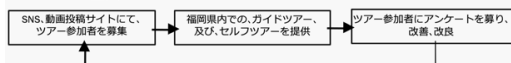
- ・ニッチな分野なので、九州への観光客の誘致が増加すること
- ・福岡および九州の魅力を再発見する機会を提供すること
- ・雇用の創出が期待されること

4. 事業化に向けたビジネスモデルについての具体的な紹介

- ・商品・サービス・ノウハウなどを分かりやすくご説明ください。
- ・「事業収入(提供金額)」「費用(事業コスト)」「告知手法」等を可能な限り記述してください。

ツアー概要

- ・福岡県内でのバイクツーリングツアーの実施
- ・短期間、及び「自然体験」、「文化見聞」に重きをおいたツアーを企画



集客方法

- ・各種SNSにて、集客、情報発信
- ・低コストでの情報発信が可能
- ・長期的な目線でSNS運用



PR(SNS)

- ・媒体に合わせた宣伝を
例)・X(元Twitter) → バズ
・Instagram → 映え
・Facebook → ビジネス寄り
- ・年齢層が若い媒体ほど砕けた雰囲気、高くなるほど厳かに

PR(動画)

- ・YouTubeに様々な動画を投稿
例)・バイクツーリズムについて
・バイクの面白さについて
・観光案内
- ・ツアーの説明
・ツアールート走行
・グルメ情報



参加費用

既存のツアーを元に考える

株式会社モトライドツアーズ

阿蘇半日コース 20,000円
【内訳】
・ガイド料
・施設入場料レンタル(バイク料金(申込の場合のみ))
・集合場所までの送迎

株式会社MOTO TOURS JAPAN

アテンダント付3泊4日北海道パッケージツアー 90,000円
【内訳】
・レンタルバイク料金
・バイク保険料金
・上記記載の宿泊(3泊)・食事・バイクアテンダント
・旅のしおり(日程表)

半日バイクツーリズムツアー

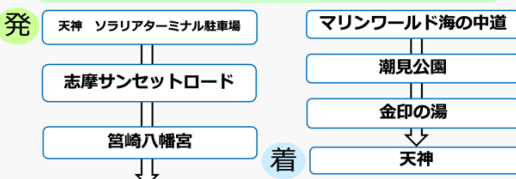
約10,000円

【内訳】
・ガイド料 5000円
・ガソリン代 1000円
・観光施設入場代 2000~3000円
・駐車場料金 500円
・装備品レンタル代 1000円

バイクツーリズムツアーの一例

海沿い半日バイクツーリズムツアー

- ・時間 半日(12時~18時)
- ・中食 あり
- ・出発地点 ソラリアターミナル駐車場
- ・定員 一名~六名
- ・総走行距離 150km予定
- ・終着地点 天神



●福岡県内に特化したナビアプリの作成

既存のアプリからプラスα(差別化)のシステムを

■周囲の観光名所、娯楽施設に関する詳細情報の提供

- ・福岡の観光名所や娯楽施設にとどまらず、歴史や有名なお土産等を紹介
- ・文章読み上げ機能を搭載

■ニーズに合わせたツアールートのご案内機能

- ・プラン設計、宿泊先の案内、周辺のイベントの紹介

■ライダー同士でのコミュニケーションが取り合えるSNS機能

- ・バイクに乗ってなくても楽しめるSNSに
- ・ライダー同士でやり取りができる、チャット機能
- ・質問箱の設置
- ・イベントの開催



- ・ツアーの内容としては、短期間、及び「自然体験」「文化見聞」に重きをおいたツアーを計画し、また集客に関しては低コストで情報の発信が可能、XやYou Tubeなどの各種SNSを利用予定である。
- ・参加費用に関しては既存のバイクツアーを参考に、約1万円程度の値段を立てている。
- ・SNSでの情報発信について、それぞれ媒体によって使用する層は異なるので、例えばXであれば、所謂、若者に受けるバズを狙ったり、Instagramだと、「映え」を意識したりと、それぞれの媒体によって立ち回り方を工夫しながら発信していく予定。
- ・現在、You Tubeに投稿する動画も制作しており、ツアールートの走行動画を撮ったりなどを行っている。時間としては昼から夕方までの半日。走行距離は150キロと短めに設定した。ルートは天神から始まり、志摩サンセットロードや潮見公園など、走りながら海の香りや眺めを楽しめる、自然体験を味わえるルートを計画している。
- ・福岡県内に特化したバイクナビアプリの作成の計画も行っている。福岡県内でバイクツーリズムの発展を目指し、現在、既存のバイクナビアプリからプラスαのシステムを導入した、ナビアプリの作成を計画している。プラスαの要素としては主に3つ。一つ目は福岡県内の観光名所や歴史、有名なお土産等の情報提供、またそれらを文章読み上げ機能で、走行中でも聞ける機能の搭載。2つ目はニーズに合わせた案内機能。3つ目はライダー同士でコミュニケーションが取り合えるSNS機能を考えている。

5. 事業化後の目標、継続可能性や将来のイメージなどについて

- ・「バイクツーリズムといえば福岡・九州」
- ・5年後、福岡・九州はバイクツーリズムの拠点としてニューアドベンチャーを求める国内の観光客だけでなく海外の観光客の来訪が期待される。